

市議会

正・副議長決まる

議長は加藤昌一さん

9月定例会市議会で、議長・副議長の改選が行われ、議長に加藤昌一さん、副議長に芦沢彦正さんが選ばれました。

議長・副議長に抱負などをインタビューしてみました。



議長
加藤昌一さん



副議長
芦沢彦正さん

「市政の主人公は市民であるから、まず、市民の幸せを最優先に考えなければいけない。」また、「議会の持つ議決権と市当局の持つ執行権をふりまわしたら、市政はうまくいかない。

お互いによく話し合って市政をすすめていかなければ……」と、議長としての抱負を語ってくれました。

議員になった動機は、自分の考えていることを公の場で発言し、それを市政に反映させることができたこと……とのことでした。

趣味は、盆栽と読書。読書は毎日欠かさず、必ず1日1時間位は本を読むそうです。住所は、神谷533の2。

現在、奥さんと長男の3人家族。
64歳 市議5期

「議長を補佐しながら、住民のためのまちづくりをも、議長に提言していきたい。」また、「議会の機能として住民との接点的役割があるので、住民が手の届く議会であるよう心がきたい。」と、抱負を話してくれました。議員になった動機は、支援者や地域からの要請を受けたのが大きなきっかけに。また、議員として政治の場へ入ってからは、自分の生活感覚からくるものを市政に反映していくことが大切——と痛感したそうです。

趣味は、囲碁・将棋・盆栽・音楽と多種多彩。

住所は、鈴川628の143。奥さんと長男夫婦それぞれにお孫さん1人の5人家族。 63歳 市議4期

みどりくすびのまちづくり
さわやかですみよいまちづくり
ごみのないきれいなまちづくり

富士市をきれいにする市民運動推進連絡協議会

エジソンに挑戦

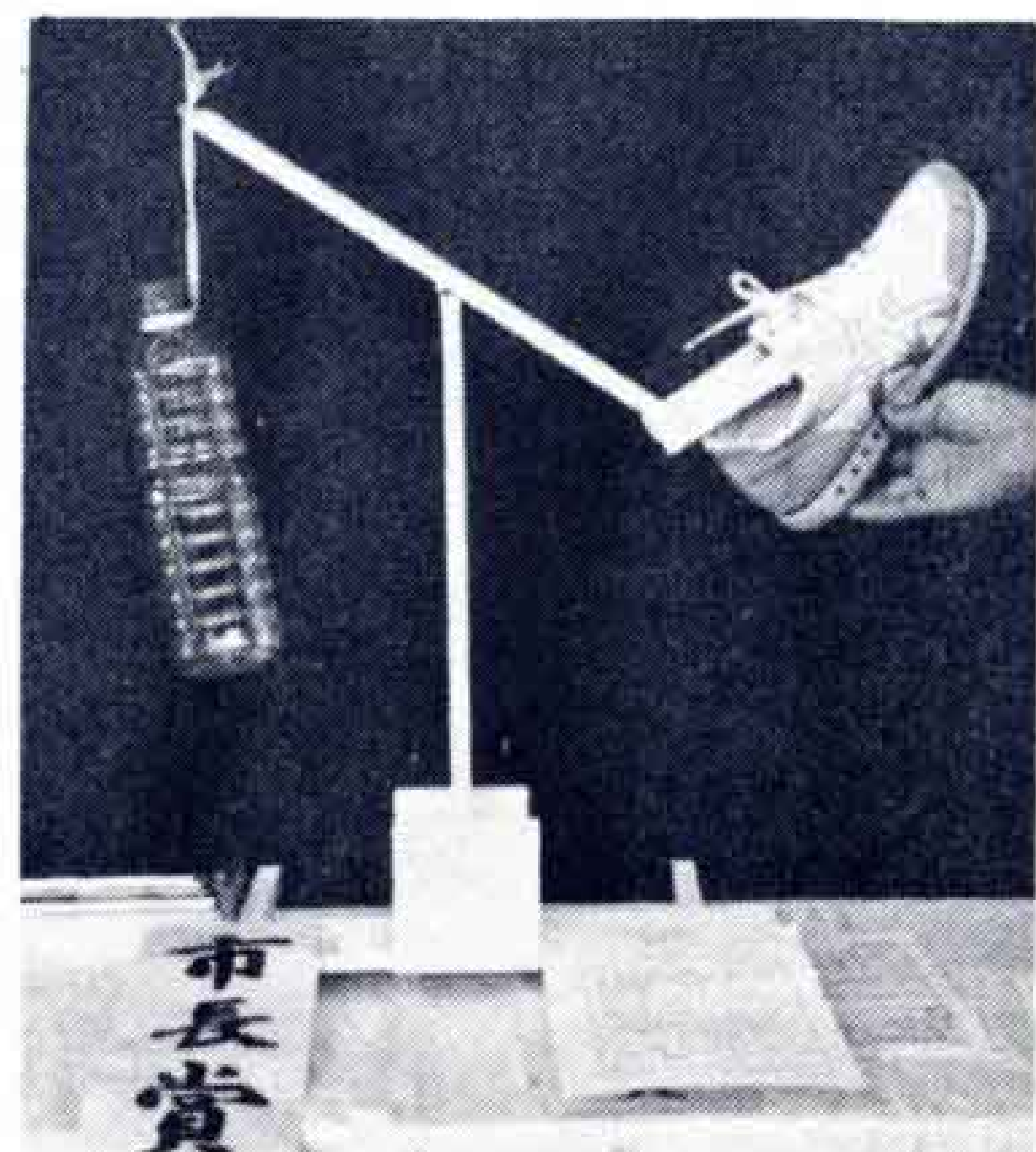
「発明くふう展」

市長賞は中島千穂ちゃん(丘小3)

日ごろの生活の中にアイデアを生かした、第17回富士市発明くふう展が、10月2日から4日まで吉原市民会館で開かれました。

今年の出展状況は、一般の部16点、学生の部449点で、学生の部は出品数が例年より100点以上も上回っていました。

今年市長賞は、市立丘小学校3年生の中島千穂ちゃんが発案した「くつつかわかし器」。これさえあれば、濡れたくつもたちどころに乾きあがる——といったものです。審査員も「発想が実にすばらしく、大人ではなかなか考えつかないアイデアだ」と高い評価をしていました。



中島千穂ちゃんの発案した「くつつかわかし器」